

図書館だより

NO. 107 2007年 1月号
(2007年1月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

今月の中央展示は

「年男・年女、亥生まれの人の本」です

展示期間2007年1月5日(金)～1月30日(火)

今年は、亥年です。はつかいち市民図書館では毎年1月に「年男・年女」に関する展示をしています。『十二支の話題辞典』(加藤迪男著 東京堂出版 049頁)によると、亥年生まれの人は「忍耐強く、向上心に富み、若年期に成功する人が多い。しかし頑固一徹で融通がきかず、柔軟性に欠けるために折角の成功も保てない。」とあります。今年の年男・年女には、岡本太郎さんやビートたけしさん、佐藤愛子さん、栗原はるみさんなどがいらっしゃいます。普段は書庫にあるような本も展示してありますので、是ぜひこの機会にお借りください。

蔵書点検による休館のお知らせ

はつかいち市民図書館

2007年2月20日(火)～3月2日(金)

はつかいち市民大野図書館・大野西公民館

2007年1月30日(火)～2月9日(金)

今月の展示

〈一般書〉

- ・正面展示 『年男・年女、亥年生まれの人の本』

今年は亥年です。今年の年男・年女が書いた本、彼らについて書かれた本を集めてみました。

- ・展示コーナー『さくらびあ物語の本』ーオーケストラに関する本ー

4月22日にさくらびあで「広島交響楽団廿日市定期演奏会」が開催されます。そこでオーケストラに関する本を集めました。オーケストラに関する知識を深めた上でコンサートに出かけてみてはいかがでしょうか？

〈児童書〉

- ・子どもの本の展示コーナー 『イノシシの本と冬の本』

新しい年はイノシシの年。そして雪の降る季節になりました。見た目はこわいけど本の中ではかわいらしいイノシシの本と、外は寒いけど楽しい事がいっぱいの冬の本を展示しています。

わたしのすすめる本

原稿集中!!

一般書

『ウオッチャーズ』上・下

ディーン・クーンツ/著

B933/ク

1993年 文芸春秋

ディーン・クーンツの『ウオッチャーズ』は上下巻あるが、登場人物の多彩さ、際立った個性には驚かされる。自分と関わったもの、愛するものは全て死ぬというジंकスにおびえるトラヴィス、自分はダメ人間だと思いこんでいる恋人のノーラ、その二人を良い方に変えていく天才犬アインシュタイン。この三つの主要登場人物を軸に、三つの敵が現れる。この話は二十年前のホラーであり、ストーリーはアリガチだが、面白さは保証付きである。是非読んでみてください。

紹介者 岡野 なおみ様

一般書

『砂漠の女王』

ジャネット・ウォラック/著

933/ワ

2006年 ソニー・マガジズ

第一大戦前後イラク建国の陰にあってアラビアのロレンスなどと英国支配のために情報活動をしていた英国女性の生涯を描いた物語である。アラブの民との密接な関係を通じてアラブを理解していくが、その情報が英国の立場と乖離し、上司、同僚との人間関係に悩まされ、孤立化していく姿が描かれている。

英国の帝国を支配する情報活動の実態及びそれに冒険者の紀行文がどう関わっているかを理解する上で興味深い本である。

紹介者 高橋 弘道様

今月の新着 おとなの本

図書館には1カ月に約800冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

☆☆ 図書館のホームページで新着図書の一覧を見ることができます ☆☆

- 『愛国の作法』姜尚中/著 朝日新聞社 154/カ
『「人見知り」は案外うまくいく』-不器用な自分のままで仕事と人生がうまくいく方法- 吉岡英幸 技術評論社 159/ヒ
『九州遺産』砂田光紀/文・写真 弦書房 291.9/ス
『戦争という仕事』内山節/著 信濃毎日新聞社 304/ウ
『どくゆく? 団塊男どうする団塊女』吉永みち子/著 日本経済新聞社 367.7/ヨ
『自殺が減ったまち』本橋豊/著 岩波書店 368.3/モ
『カラダで地球を考える』-「完全なる代謝」という発想- 中野不二男/著 新潮社 468/ナ
『蝶々はなぜ菜の花にとまるのか』-日本人の暮しと身近な植物- 稲垣栄洋/著 草思社 470.4/イ
『自転車依存症』白鳥和也/著 平凡社 536.8/シ
『雪舟筆致牛図』-みる・しる・しらべるコレクション- 山口県立美術館編著 オクターブ L721.3/セ
『小説家の庭』丸山健二/作庭・写真・文 朝日新聞社 748/マ
『素晴らしき! メジャーリーガー人生』長谷川滋利/著 日経BP出版センター 783.7/ハ
『藤沢周平未刊初期短編』藤沢周平/著 文芸春秋 F/フ
『遺品整理屋は見た!』-孤独死・自殺・殺人…あなたの隣の「現実にある出来事」- 吉田太一/著 扶桑社 916/ヨ
『選ばれた女1・2』アルペール・コーエン/著 国書刊行会 953.7/コ

あたらしく入った本 こどものほん

『とらとほしがき』

—韓国のむかしばなし—

パク・ジェヒョン/再話・絵

おおたけ きよみ/訳 光村教育図書 E/ハ

ある日、山奥に住む大きなとらが山を下りてきました。はらぺこのとらは、牛小屋の牛を食べようと近づいた時、家の中から話し声が聞こえてきました。それを聞くうちにとらは…。日本の「ふるやのもり」に似たおはなしを伝統の民画風に描いた韓国絵本。

『子どもの写真で見る』

世界のあいさつことば』

稲葉 茂勝/著 こどもくらぶ/編

今人舎 804/イ

世界のあいさつのことばと、そのことばを表す文字を子どもたちの写真とともに紹介しています。イスラム教の聖典で定められたあいさつで「アッサラームアライクム」は「あなた方の上に平和あれ」という意味です。世界の国々の子どもたちの輝くような笑顔が印象的です。

『森大衛のなるほど書道入門』

第1巻』

森 大衛/著 汐文社 728/モ

書道ってなんだ？どこからきたの？道具や姿勢、筆の持ち方は？この本は、書道の楽しさとコツをわかりやすくシンプルに解説しています。初めて筆を持つ子どもや大人への入門書、全3巻です。

『むしのあいうえお』

今森 光彦/切り絵とことば 童心社 E/イ

「あ」のページは「あめよふれ あめんぼ すいすい あめのこども」の言葉と精巧な切り絵で描かれています。生きものが好きな作者は、小学2-3年生の頃からハサミで魚や昆虫や鳥の切り絵をしていたそうです。切り絵と言葉による昆虫図鑑。

『ばけもの長屋のおはなちゃん』

びんぼう神とばけもの芝居』

岩崎 京子/作 長谷川 義史/絵

文溪堂 913/イ

江戸の町では、いっせいにすす払いをする。長屋の徳さんが、おかみさんにせかされてすす払いをすると、居候のびんぼう神が出てきた。徳さんはたたき出そうとするが、娘のおはなちゃんが助けてくれて…。びんぼう神とおばけたちの楽しいお話。

『ぶたのぶたじろうさん③』

はげやまへのぼりました。』

内田 麟太郎/文 スズキ コージ/絵

クレヨンハウス 913/ウ

ぶたのぶたじろうさんは、何人もの命を飲み込んだナンジャソレハを退治するために山へ登りました。それは正体不明の怪物で、山へ行った者はだれも帰ってこないのです。絵と文がマッチした愉快なお話を他に2話収録。シリーズ第3弾。

● 『国際理解に役立つ世界の宗教がわかる絵事典—「信じる心」を尊重しよう—』

井上 順孝/監修 PHP研究所 160/セ

● 『料理図鑑—『生きる底力』をつけよう—』

おち とよこ/文 平野 恵理子/絵 福音館書店 596/オ

親から子へのことばに代わる料理のアドバイス集

● 『たそかれ—不知の物語—』 朽木 祥/作 山内 ふじ江/画 福音館書店 913/ク

第35回児童文芸新人賞、他受賞の著者の第2作目

● 『はじめての文学—村上龍—』 村上 龍/著 文藝春秋 918/ハ(ヤングコーナー)

● 『はじめての文学—村上春樹—』 村上 春樹/著 文藝春秋 918/ハ(ヤングコーナー)

10代の読者のために著者自身が選んだアンソロジー

● 『飛ぶ教室』 エーリヒ・ケストナー/作 池田 香代子/訳 岩波書店 943/ケ

新訳新装版

子どもと本の講座

第4回目の子どもと本の講座は、12月13日（水）に開催され、38人の参加がありました。

内容は、2005年11月～2006年10月の間に図書館に入った絵本のなかから図書館員お勧めの本の紹介です。最近出版された絵本の傾向としては大人が読んでしっかりと楽しめる本が多く、そのなかで最もお勧めの本が『ルリユールおじさん』（いせひでこ作 理論社 E/I）です。女の子が壊れた植物図鑑を本作り工房のおじさんに直してもらおう物語ですが、さりげないラストも感動的です。その他『おじいちゃんは水のおいがした』（今森光彦著 偕成社 E/I）や『はっぱじゃないよぼくがいる』（姉崎一馬文・写真 アリス館 E/A）など写真を使った本が数多く出版されました。『くるみ割り人形』（E・T・Aホフマン原作 リスバート・ツヴェルガー絵 BL出版 E/T）や『決定版！大型絵本西遊記』（唐亜明文 于大武絵 偕成社 E/R）など長い物語を絵本化した本も多く出版されています。また、『春の主演 桜』（ゆのきょうこ/文 早川司寿乃/絵 理論社 E/H）『進化のはなし』（ステイブ・ジェンキンス作 評論社 E/T）などは、自然のしくみを絵本で解説してあり、理解しにくい内容もわかりやすく読みやすい作品に仕上がっています。『びくびくピリー』（アンソニー・ブラウン作 灰島かり訳 評論社 E/W）という作品のなかに登場する「心配引き受け人形」を実際に見てみたいという話をしたところ、参加者の方から紙屋町シャレオにあるお店に売っていることを教えていただきました。

このほかおすすめの本を紹介します。

『きょうはソノミのうちでキムチをつけるひ！』

（キイツウ文 バツゾ ヲツア絵 セーラ出版 E/F）

『おかあさん、げんきですか。』

（後藤竜二作 武田美穂絵 E/W）

『めんめんばあ』

（はせがわせつこ/ぶん 福音館書店 E/H）



1月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館	2 休館	3 休館	4 休館	5	6
7	8	9 休館	10	11	12	13 ☆
14	15 休館	16	17	18	19 ◎	20 ★
21	22 休館	23 ◆	24	25	26	27 ☆
28	29 休館	30	31 休館			

◎…ちいさいこのためのおはなしかい

場所：図書館

対象：乳幼児

時間：11時～

☆…おはなしかい

場所：図書館

対象：幼児・小学校低学年

時間：11時～

★…おはなしの部屋たまたまこ

場所：図書館

対象：幼児から大人まで

時間：11時～

◆…あいプラザ おはなし会

場所：あいプラザ 2階健康指導室

対象：乳幼児

時間：11時～

お心あたりはございませんか？

誤返却本の展示

はつかいち市民図書館所蔵ではないご自宅の本が間違っただけで返却されることがあります。そのうち、返された人がわからない本を館内に展示しています。

展示期間

1月5日（金）～1月30日（火）

お心当たりの本がありましたら、お持ち帰りください。なお、期間中取りに来られない本はリサイクル市等にて活用させていただきます。